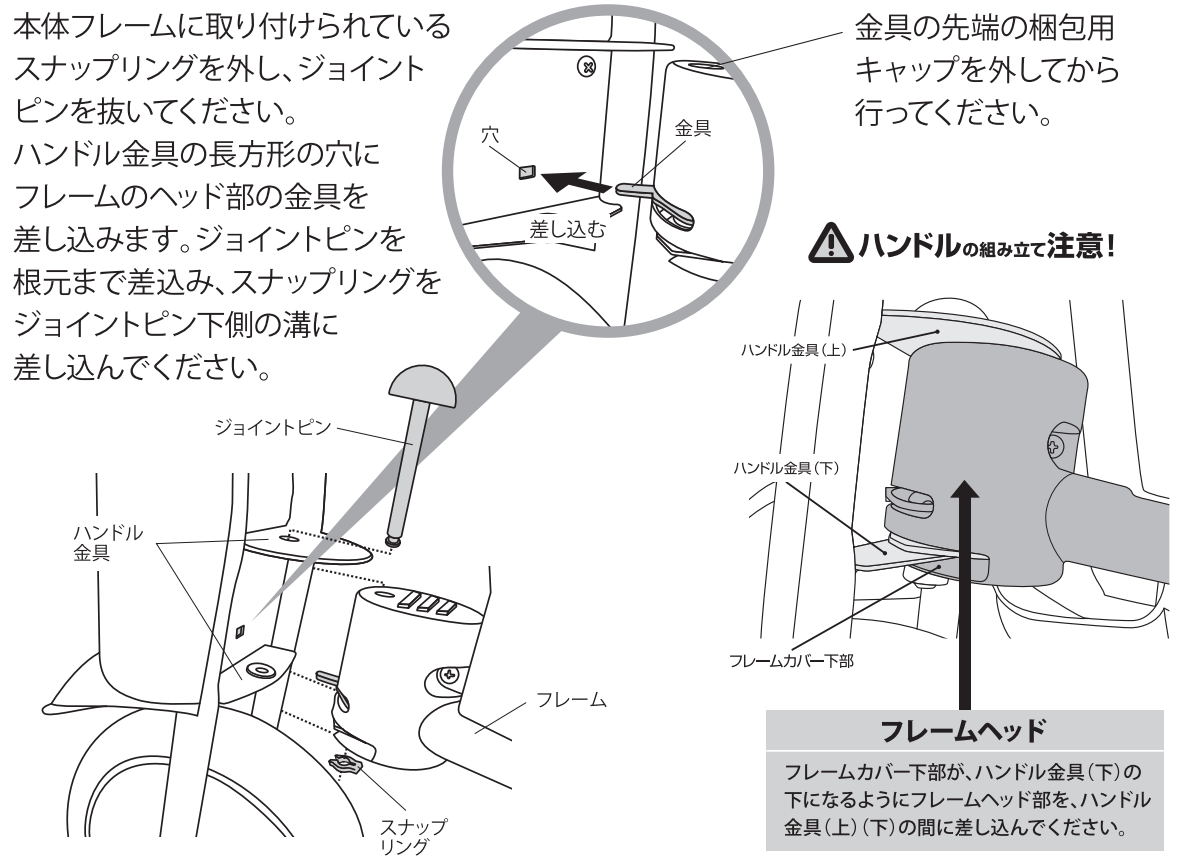


⚠️ 組み立ては必ず大人が行なってください。

セット内容

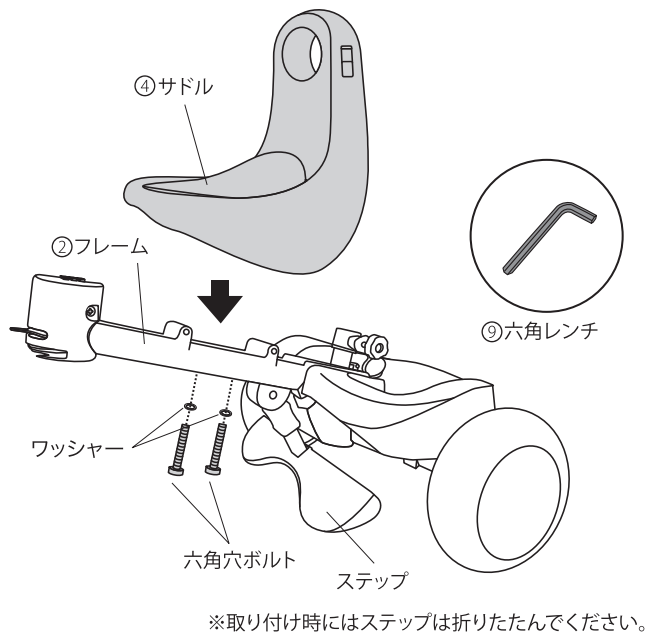


01 ハンドルの取付け方



02 サドルの取付け方

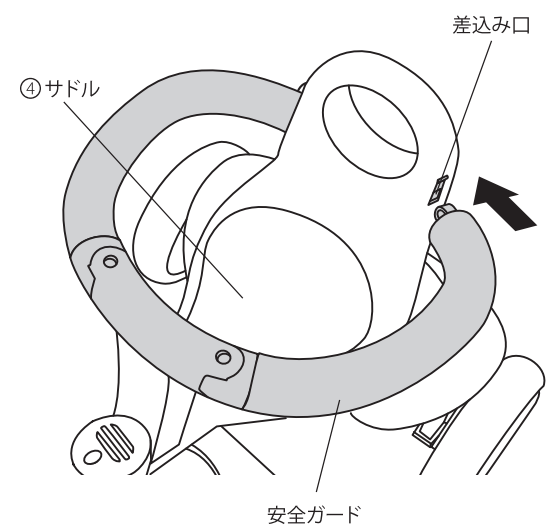
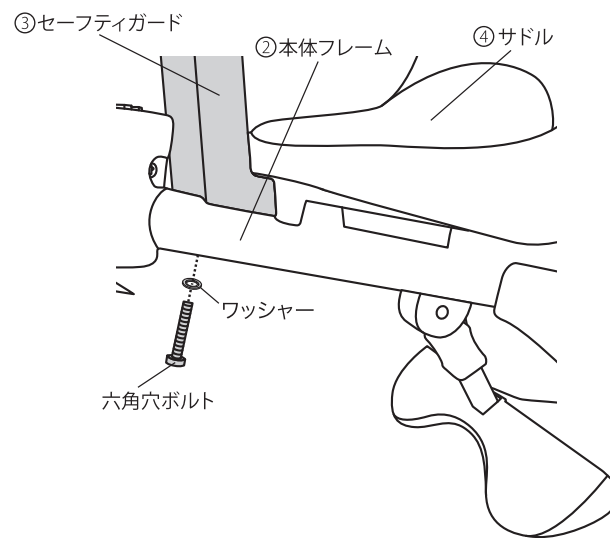
フレームの上へサドルを置いてください。フレームの裏側の穴にワッシャーと六角穴ボルトを差し込み、付属の六角レンチで締めてください。



03 セーフティガードの取付け方

①フレームの裏側の穴にワッシャーと六角穴ボルトを差し込み、セーフティガードを固定してください。

②セーフティガードを差し込み口にに取り付けてください。

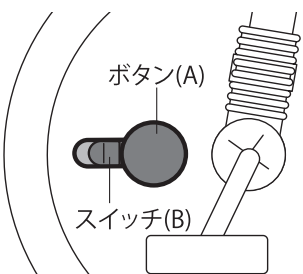


フリーペダルの使い方

前車輪の丸いボタン(A)を押し込むとペダルがフリーの状態になります。

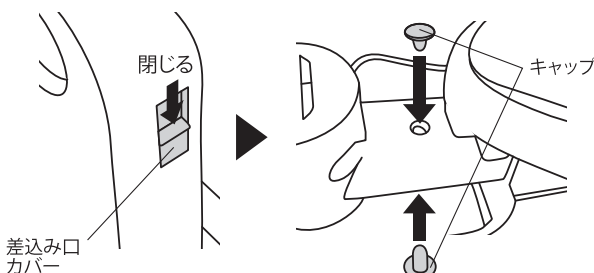
スイッチ(B)を左にスライドさせるとペダルがロックされ通常の三輪車の状態になります。

※スイッチ(B)をスライドさせても丸いボタン(A)が完全に戻らない場合があります。その場合はペダルを少し動かすと丸いボタン(B)が完全に戻り、通常の状態になります。



セーフティガードを外してご使用の場合

セーフティガードを外した後、差し込み口カバーを必ず下ろし、フレーム穴に合わせてキャップをしてください。

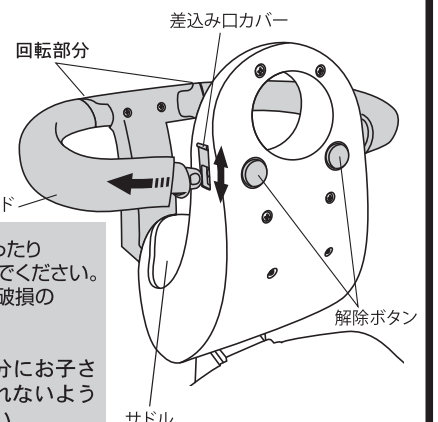


安全ガードの取扱い

背もたれ後部の解除ボタンを押しながら、安全ガードを開閉してください。

⚠️ 注意 安全ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。特に開いた状態では破損の恐れがあります。

開閉の際は回転部分にお子さまの手が巻き込まれないように注意してください。

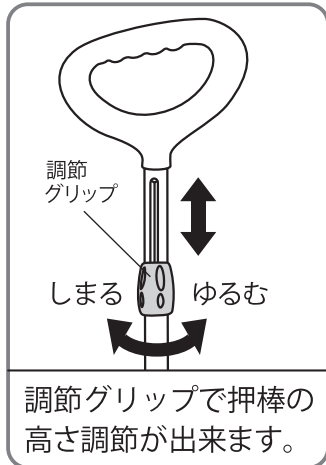
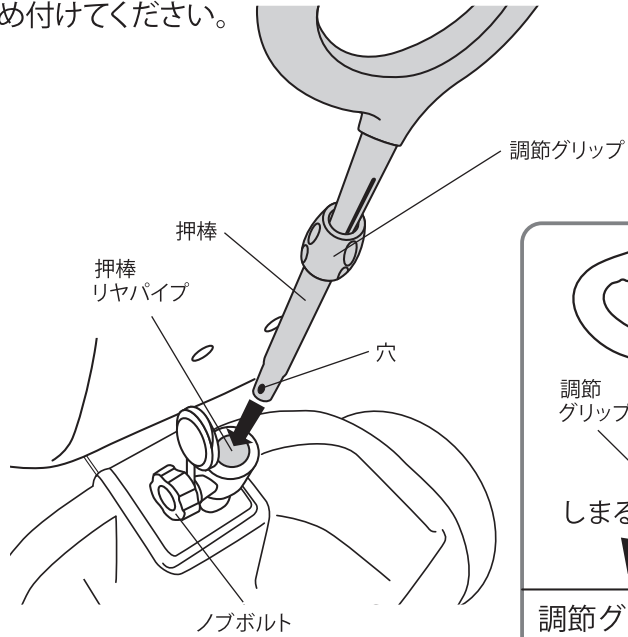


04 押棒の取付け方

押棒下部の穴が左側になるように、押棒リヤパイプに差込み、ノブボルトを締め付けてください。



注意 押棒に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。倒れる恐れがあり危険です。



調節グリップで押棒の高さ調節が出来ます。

押棒を取外してご使用の場合

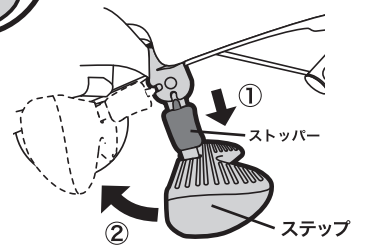
ノブボルトを緩めて押棒を抜き、押棒リヤパイプに必ずキャップをしてください。



ステップの取扱い

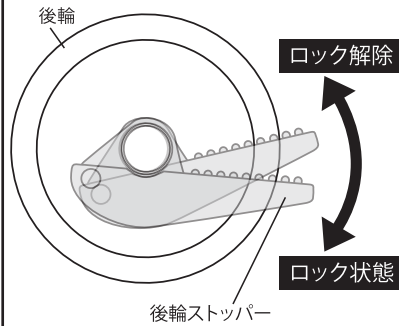


図のようにストッパーを持ち、①矢印方向に下ろしながら、ステップを②の方向にスライドさせるとたためます。(ステップを出す場合は逆の手順です。)



後輪ストッパーの取扱い

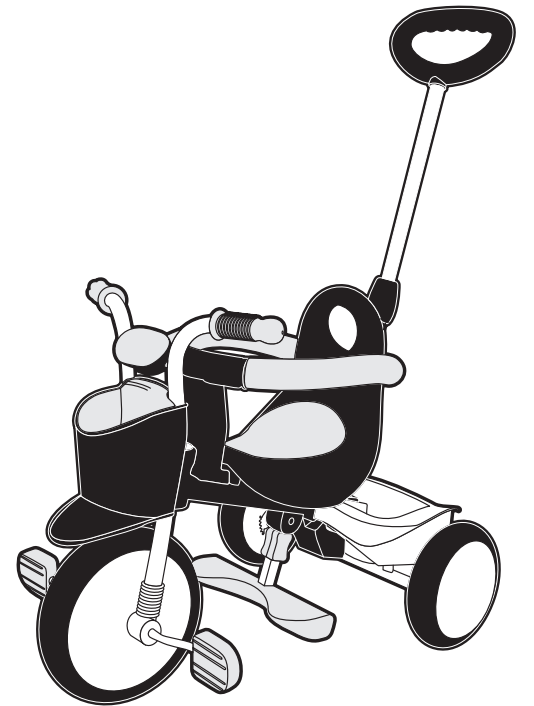
後輪ストッパー側面図



後輪ストッパーを上に出るとロック解除、下に下げるとロック状態になります。



後輪ストッパーは自転車などのブレーキ機構ではありません。一時後輪回転を止めておく為の機構です。お子様を乗せたまま放置しないでください。



ご使用上の注意 ご使用になる前に、必ずよくお読みください。

- 押棒とステップは自分で三輪車をこげない幼児のための補助具です。幼児の足が地面及びペダルに確実につき、自分でこげるようになりましたら押棒と安全ガードは外して、ステップは折りたたんでください。取外した部品は、お子様の手の届かない所に保管してください。
- 足が地面及びペダルに確実に着くことを確かめて使用してください。
- ご使用対象年齢は1才半児から4才児までが適正です。(身長77cm~100cm)
- 初めて一人で使用する幼児については、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
- 押棒を使用する際は必ず保護者が操作を行い、幼児の足が巻き込まれないよう注意してください。
- 幼児がサドルの上に立ち上がらないように注意してください。また、押棒に寄りかかると三輪車と共に転倒する危険があります。十分に注意してください。
- 三輪車は構造上、ハンドルを切った時ペダルを踏み込んだ時に転倒することがありますのでご注意ください。
- 幼児の足が地面に十分着かない状態で使用しますと転倒する危険がありますので、大人が付き添ってください。
- 車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないようにしてください。
- 坂道や車両の交通量が多い所では使用しないでください。
- 斜面及び段差のある場所、転落のおそれのある場所では乗らないでください。

- 二人乗りなどの危険な乗り方は絶対にしないでください。
- ステップの上に立たせないでください。また、乗降時の踏み台にしないでください。
- 安全ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
- 安全ガードを開閉する際は必ず保護者が操作を行い、回転部分にお子様の手が巻き込まれないよう注意してください。
- 押棒を付けた状態で使用するときは、必ずステップを引き出して取り付け使用してください。
- お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- 時々手入れ点検をして、故障及び破損したままで使用しないでください。
- 長い間のご使用中にネジやナットが緩むことがあります。お手数でも締め直してください。
- 屋外で使用された後は、直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
- 火気のあるところ、高温の場所には近づけないでください。
- 砂場や水たまりで使用しないでください。
- 三輪車以外の目的では使用しないでください。
- 業務用・団体等では使用しないでください。
- 小さな部品があります。組み立てる際、誤飲の恐れがありますのでお子様がそばにいない状態で行ってください。

乗車前の点検

- ハンドル・車輪・サドル・ペダルにがたつきや、ゆるみがないことを確かめてください。

日頃のお手入れ

- 本体や車輪に付いた泥などの汚れは、柔らかいブラシや布で拭いて落としてください。ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めたものをふくませてぬぐった後、乾いた布でよく拭いてください。(シンナー・ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。)
- 前車輪の軸受け・ハンドル金具の回転部分・後車輪の車軸にのみ、家庭用のミシン油か自転車油等を3カ月に一度程度少量注油してください。

品番 1004

三輪車

iimo
TRICYCLE #01 イーモトライシクル

エム・アンド・エム株式会社

本社 〒542-0072 大阪市中央区高津1丁目10番14

製品に関するお問い合わせ

エム・アンド・エム株式会社 お客様相談室 受付時間：9:00~17:00 (土日、祝日を除く)

☎ 0120-078815 E-mail web@mimi.co.jp

MADE IN TAIWAN